

報道関係者各位

佐賀県 武雄市役所

～ 観光等の回遊性促進や災害シミュレーション等に活用 ～

「人流データプラットフォーム」を開発しました

武雄市では、人流データを活用した観光客の回遊性促進と災害シミュレーションなどへの取り組みとして、市独自の人流データプラットフォームを開発しました。武雄温泉駅内等にデジタルサイネージを設置し、賑わいスポットやタイムリーな観光案内などのコンテンツを表示します。また、スマートフォン用 WEB サイトも公開し手軽に持ち歩けるコンテンツサイトとして回遊性を促進します。災害シミュレーションでは、市民だけでなく観光客などにも利用いただける避難シミュレーションや浸水シミュレーションを実施します。

【目的】

- ・人流データ基盤を独自に開発する背景には今後のデータ活用を視野に入れ、データを各種サービスや分析を独自に実施することで、地域の特性を自ら明らかにし活用していきたい。
- ・人流データ基盤を独自で開発することで、観光客への回遊性コンテンツだけでなく人流の増減を考慮した水害や避難所の分析等にも活用可能。また、今後は交通など、地域の課題解決への活用も可能となる。

【今回構築したシステム】

複数社のサービスとデータを連携させて1つのシステム群を構築（コンソーシアム形式）。今後の可変性や拡張性の高いシステム構築が可能な体制をとった

◎サイネージ、スマホサイトのオープンは 3月1日（金）

◎システム構成

- ・人流分析カメラシステム※1（ネクストウェア株式会社） 武雄温泉駅（北口、南口に設置）
- ・多言語情報サイト（株式会社システムシンク）
- ・流動人口データ※2（株式会社 Agoop）
- ・デジタルサイネージ（株式会社ビーティス）
武雄温泉駅（北口2、南口3）、物産館1、市役所1に設置
- ・災害シミュレーション（株式会社フォーラムエイト）
- ・移動検索（株式会社ヴァル研究所）
- ・データ基盤開発（株式会社オープンストリーム）

※1 カメラ画像は自動分析後、直ちに破棄します。分析後のデータに個人情報は含まれません。（ネクストウェア株式会社）

※2 スマホアプリより許諾を得たユーザーからのみ位置情報を取得しており、氏名や年齢等の個人情報は収集せず、プライバシー保護として位置情報から個人が特定できないように秘匿化処理をしたデータです。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市デジタル政策課 TEL 0954-27-7107

人流データを活用した武雄市観光の新たな価値創造事業



データを収集し活用する新しい武雄市へ

スマホサイト・デジタルサイネージへの表示イメージ

観光用スマホサイト

各観光情報サイト
(市観光協会、県観光連盟・地図情報サイト、九州観光機構)

複合経路検索サービス(mixway)

観光地のにぎわい情報予測

避難情報ページ

武雄市観光協会によるコンテンツ
(交通アクセス情報、Facebook、Instagram)



スマホ観光情報サイト:
<https://info-takeo.city.takeo.lg.jp/menu.html>



サイネージ運用

設置箇所

- ・武雄温泉駅南口(3面) ※右画像
- ・武雄温泉駅北口(2面)
- ・物産館入口(1面)



サイネージ運用方法

【上部】

- ・日付・天気・スマホサイトへの案内等
(固定帯)

【中部】

- ・PR動画・広告
- ・スマホサイトの案内
- ・にぎわい情報予測

【下部】

- ・触らないでくださいの注意文
(固定帯)



にぎわい情報予測 (人流データ活用)

- ▶ 人流データを元に人の動きの分析を行い、観光地数か所をモデルに人流の予測を立てて観光に来た方へ情報として提供している。
- ▶ 人の流動を可視化することによりにぎわっている場所への誘導を目的としている
- ▶ サイネージとスマホ両方で確認可能
- ▶ ※リアルタイムで混雑情報を出すことはできません。
- ▶ よって、過去推移より予測を出す形になります。
- ▶ イベント時などは注意書きを行う予定です。

